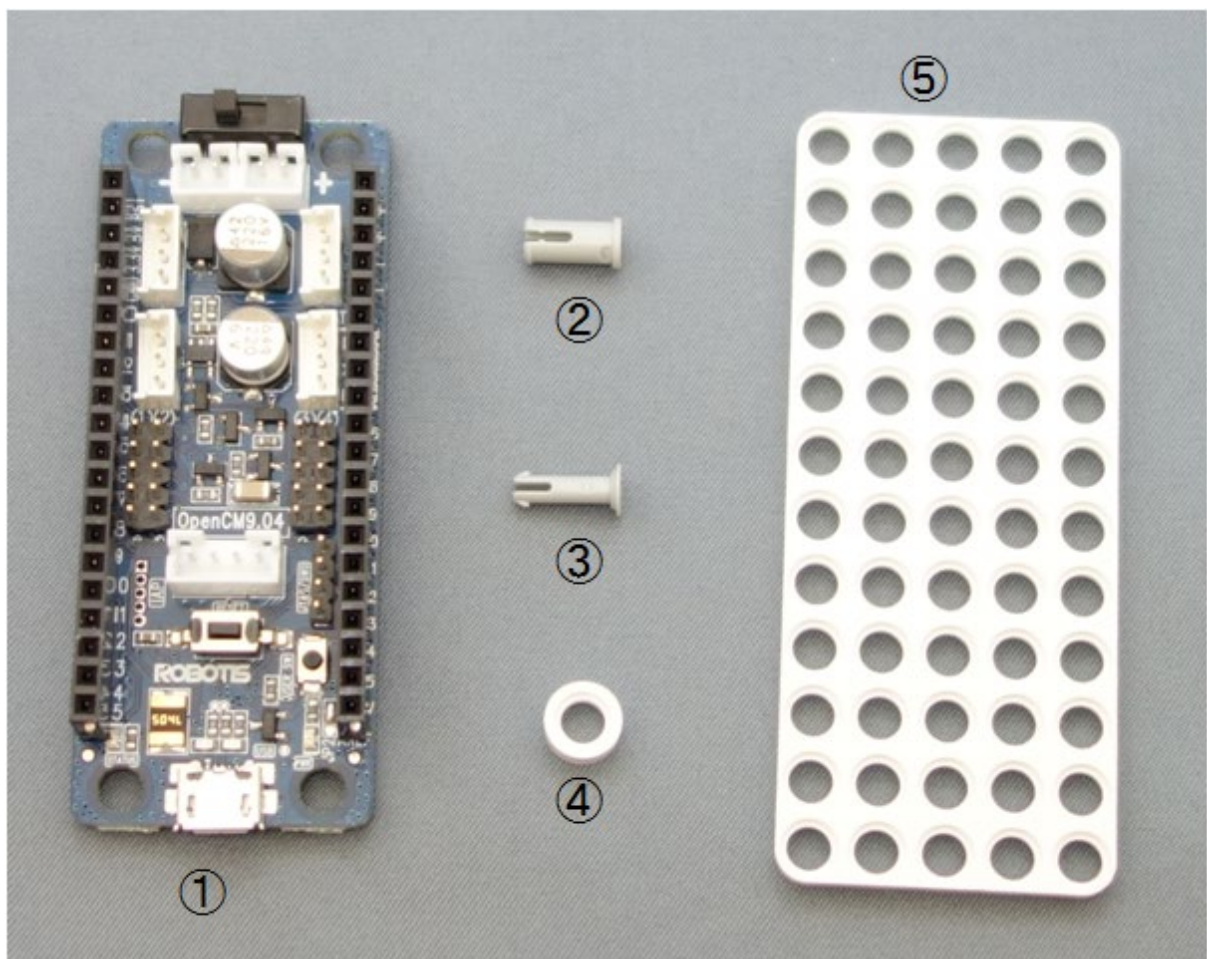


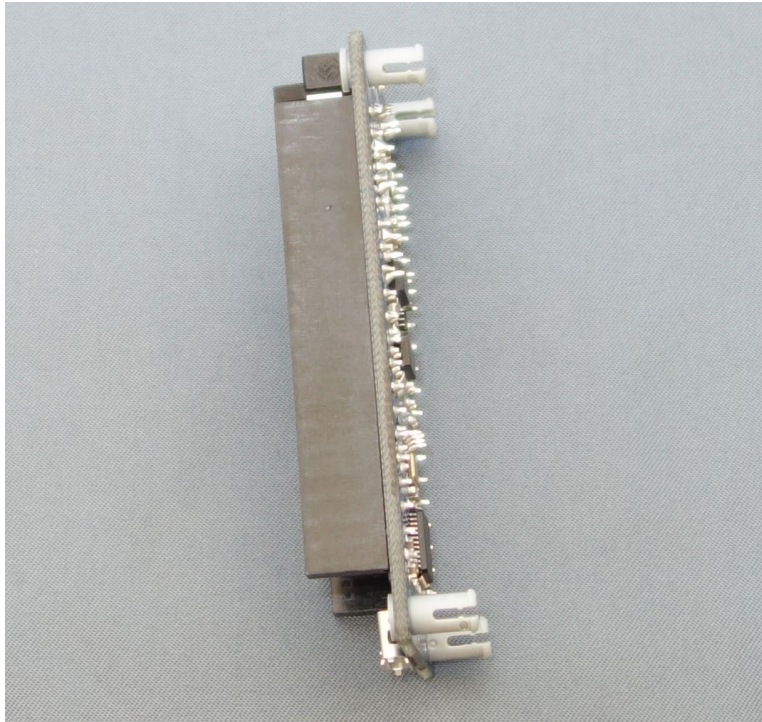
マイコンの下準備

マイコンは電気で動くもので、回路には様々な信号線が複雑に入り組んでいる。そのようなマイコンの使用において、最も注意しなければいけないのがショート（短絡）である。運が良ければ、短絡によってマイコンが一時的に動作しない程度で済むが、運が悪ければ、マイコン自体が壊れて二度と使えなくなる。電気が怖い理由の一つは、目に見えないことであり、鍵・ペンなどの金属製のもの（導電体）が回路に触れた場合には、簡単に回路は短絡してしまう。特に電気の流れは目に見えないため、注意力が下がると短絡事故を起こしてしまう。従って短絡事故を起こさないよう十分に注意することも大事であるが、短絡しにくい環境を作ることでもある。

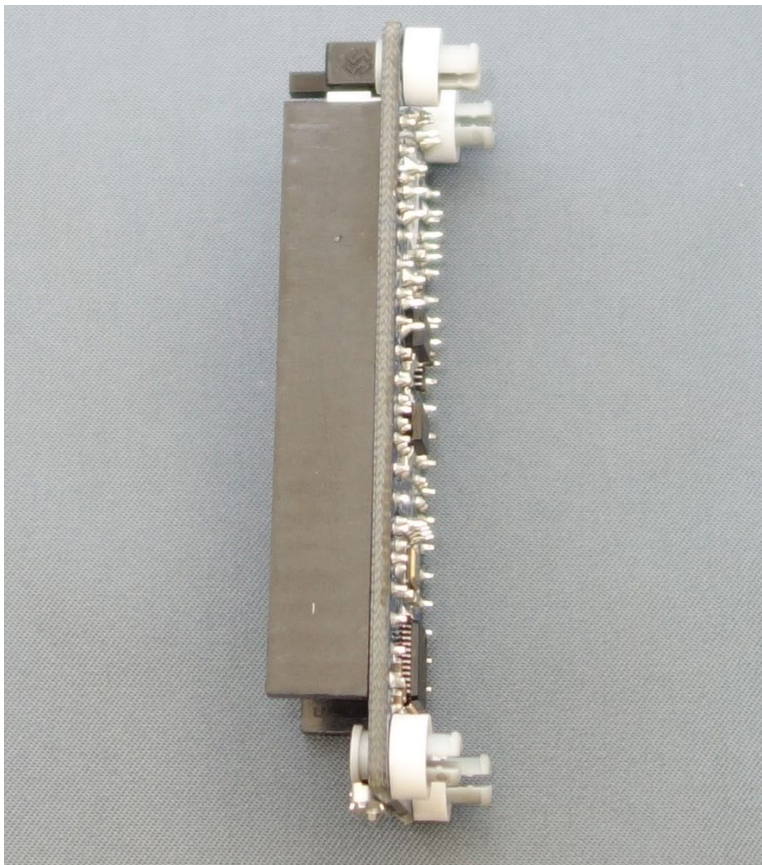
以下の準備に沿って、マイコンの半田付け面を保護し、短絡事故を防ごう。



- ① OpenCM（マイコン）
- ② リベットナット
- ③ リベット
- ④ スペーサー
- ⑤ プレート



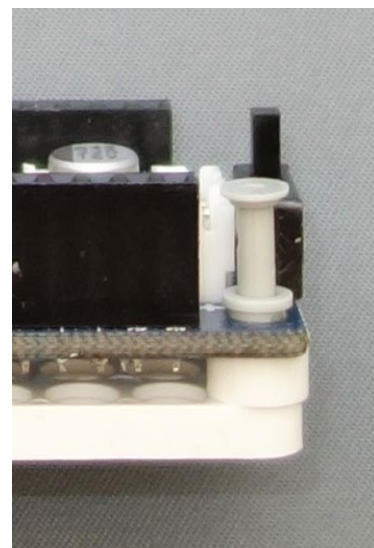
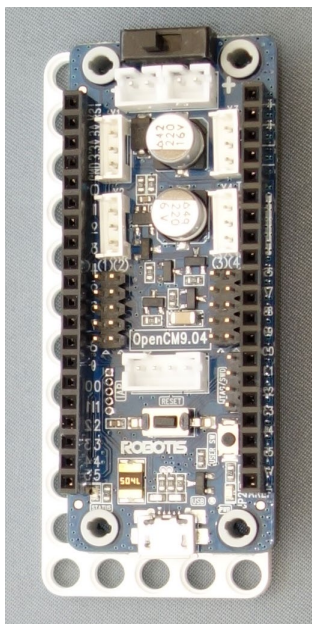
OpenCM の 4 箇所穴にリベットナットを上から差し込む



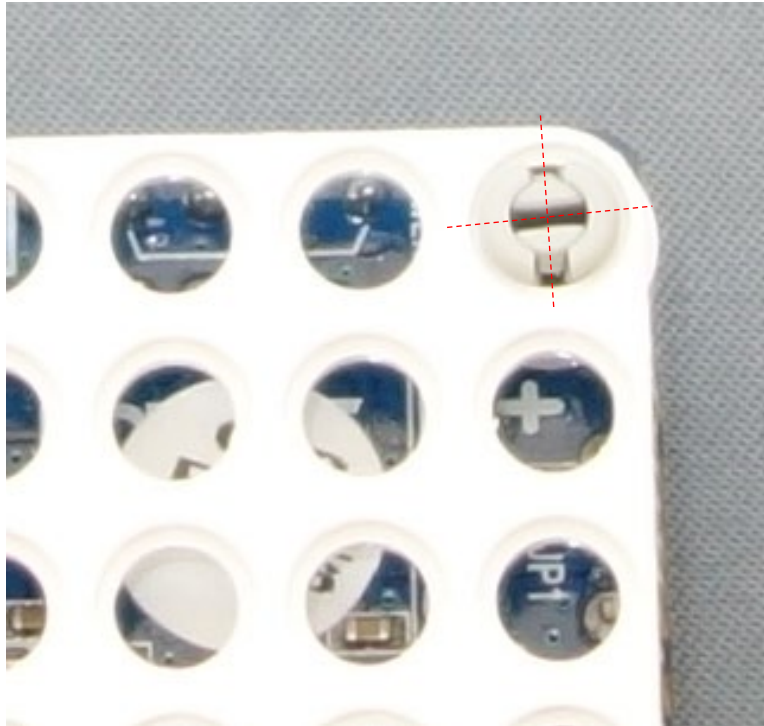
リベットナットにスペーサーを差し込む



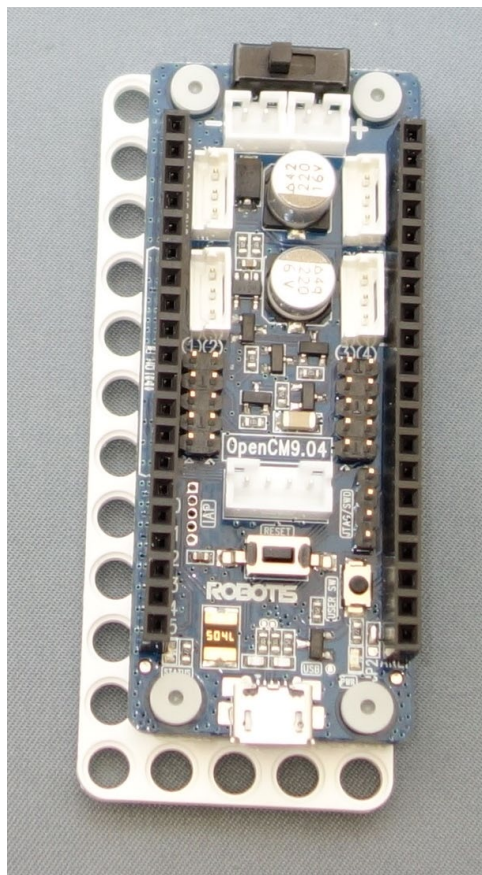
場所を選んでプレートをリベットナットの先端にはめ込む



リベットナットの穴の形状を確認し、リベット先端の突起を穴にあわせて上から押し込む。



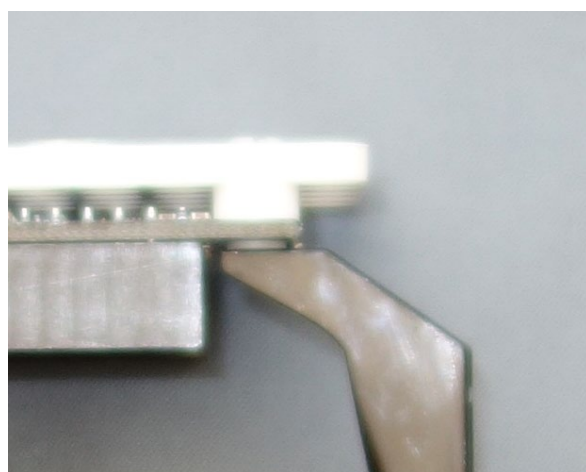
正しくはめ込めたら，反対側からリベットナットの穴とリベットの溝が直交して見える．



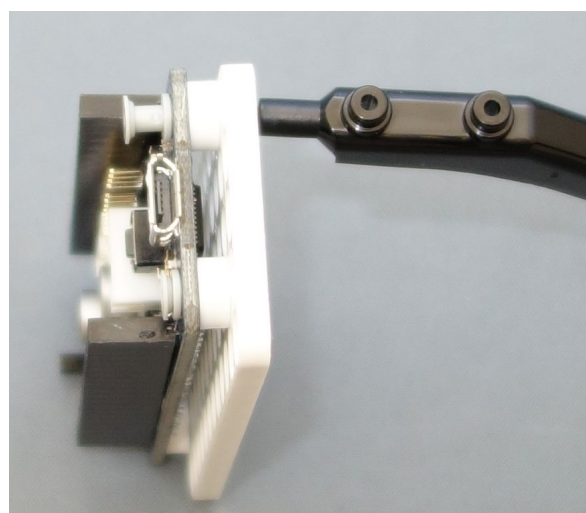
完成するとこのようになり，OpenCM の裏側をある程度短絡から保護することができる．



リベットナット等の取り付けには，この道具を使ってもよい．



特にリベットをはずす時には，このようにすると容易にはずすことができる．



下から押し込んでリベットをはずすこともできる．